委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名　特定非営利活動法人　伊那国際交流協会

1　事業の趣旨・目的

地域の日本語学習支援に、ボランティアとして関わる中で、的確な日本語の指導や、日本文化、日常生活における初歩的な相談・支援ができる能力の獲得を目標とする。

目標を達成するために以下の観点からの習得をする。

1、学習者のニーズと能力の的確な把握

2、1に応じた適切な日本語教育のコースデザイン

3、日本語教材のそれぞれの特徴と学習者の能力、ニーズに応じた選択と指導法。

4、独自教材の作成と指導法

5、ボランティア教室の運営方法

6、生活支援のための相談の対処の仕方

7、上伊那地域の多文化共生にむけた政策の取り組みの現状と課題

2　企画委員会の開催について　　　別紙　委員会記録添付

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月28日	伊那市生涯 学習センター 401会議室	春原直美 北原正治 吉岡郁子 李曼 藤本純子	1. 講座の趣旨・目的について 2. 講座について 3. その他	1. 文化庁事業についての説明 2. 講座について 講師の選定と内容 3. 会場について 次回運営委員会 オリエンテーション配布資料の確認
7月10日	伊那市生涯 学習センター 401会議室	春原直美 北原正治 吉岡郁子 李曼 有賀千恵子 関井朱美 藤本純子	1. 講座４回を終了して 2. 講座に関して 講師の選定 3. その他	1. 講座4回を終了して 受講者の内訳 講師から 講座に参加した理由 2. 講座に関して 講師の選定と内容 3、次回運営委員会

10月30日	伊那市生涯学習センター401会議室	春原直美 北原正治 吉岡郁子 李曼 有賀千恵子 関井朱美 平澤真由美 藤本純子	1. 前半を終了して 2. 後半について 3. その他　質問	1. 前半を終了して 講師から 受講者から 2. 後半について 講師の選定と内容 今後学習したいこと 3、その他 質問への回答
1月15日	伊那市生涯学習センター401会議室	春原直美 北原正治 吉岡郁子 李曼 関井朱美 藤本純子	1. 講座24回を終了して 2. 残りの講座について 3. その他	1. 講座24回を終了して 受講者、講師の反応 2、残りの講座について 講師の選定と内容 3. その他 修了証書 次回運営委員会
2月19日	伊那市生涯学習センター401会議室	春原直美 北原正治 吉岡郁子 李曼 関井朱美 平澤真由美 藤本純子	1. 講座を終了して 2. 講座のまとめ・反省 3・その他	1. 講座を終了して 2. 講座のまとめ、反省 講師から 運営委員から 3、その他 多文化共生についての意見交換

【写真】

3　研修講座の内容について

（1）　研修講座名　上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座

（2）　研修の目標

1. 学習目標

地域日本語学習支援の「核」たる人材として必要と考え、以下のスキルの獲得を目標とする。

① 地域日本語ボランティア教室の資質・専門性向上のための支援ができる

② 地域の小・中・高等学校への支援・連携ができる

③ 地域の行政機関・生活支援組織への支援・連携ができる

④ 地域の日本語学習支援拠点・交流拠点としての「日本語学習リソースセンター」の運営に携える

⑤ 地域日本語学習支援のための課題発見と提言ができる

2. 指導内容

上記の学習目標を達成するために、以下の観点からの指導を行うものとする。

① 学習者のニーズと能力の的確な把握

② ①に応じた適切な日本語教育のコースデザイン

③ 日本語教材のそれぞれの特徴と学習者の能力と局面に応じた選択と指導法

④ 学習者の置かれる立場の違いに応じた教授法の習得

（職場の日本語、年少者のための学習言語、学習者集団の中での指導法など）

⑤ 独自教材の作成とその指導法

⑥ ボランティア教室の運営方法

⑦ 異文化コミュニケーションのための実践スキル

⑧ 生活支援のための相談・解決手法（ソーシャルワーカー的な支援）

⑨ 日本語学習リソースセンターの運営手法と地域ネットワークの構築

⑩ 我が国における多文化共生に向けた政策の取組みの現状と地方行政の課題

（3）　受講者の総数　　40人（延べ人数ではなく，受講した人数を記載すること。）

（出身・国籍別内訳　日本　３２人，中国　５人，ブラジル　３人　）

（4）　開催時間数（回数）　56時間　（ 28 回）

（5）　参加対象者の要件　上伊那地域で日本語ボランティアをしている人、
また日本語ボランティアの希望のある人。

（6）　受講者の募集方法

各新聞のイベント講座案内のページで広く呼びかける。上伊那地域の日本語教室にチラシを配布し、また、必要な場所、個人へちらしを郵送した。

教育委員会を通じて、日本語指導教室のある小学校、中学校、高校へチラシ配布。

（7）研修会場

ア 講義　　伊那市生涯学習センター

イ 実習　　日本語教室ボランティア　希望者、毎週木曜日、土曜日、金曜日

（8）使用した教材・リソース

みんなの日本語初級Ⅰ本冊、指導書、みんなの日本語初級Ⅱ本冊、指導書、みんな

の日本語初級漢字、練習長、絵カード、おしゃべりのたね、日本語宝船、そのほか新刊テキスト、様々な生教材。

小説(夏目漱石　こころ、太宰治　待つ)、写真教材、協会資料、その他、日本語教材

新聞記事、上田女子短期大学でまとめた論文、長野県ホームページ掲載資料

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
6月5日 10:00～ 12:00	開講式、オリエンテーション 県内の外国籍県民事情と日本語教室	(財)長野県国際交流推進協会、前理事兼事務局長 春原　直美	21名
6月12日 10:00～ 12:00	NPOとボランティアの役割	NPO 法人伊那国際交流協会　前理事長 若林　敏明	18名
6月19日 10:00～ 12:00	日本語文法の基礎知識　1	日本語講師 関井　朱美	31名
7月10日 10:00～ 12:00	日本語文法の基礎知識　2	日本語講師 関井　朱美	30名
7月17日 10:00～ 12:00	外国人が必要としていること、その気持ち	外国籍住民　3名 ナガノ、サンタ、李	25名
7月24日 10:00～ 12:00	「みんなの日本語」で教える　1	スリーエーネットワーク 木戸　恵子	32名
7月31日 10:00～ 12:00	教材の選び方、使い方	南山大学総合政策学部准教授・元浜松学院大学教授　横内　美保子	24名
8月7日 10:00～ 12:00	日本語教育の必要性	信州大学　人文学部 准教授　坂口　和寛	26名
8月21日 10:00～ 12:00	外国籍児童生徒への日本語支援	松本市子ども日本語支援センター　コーディネーター　川澄　利枝子	29名

8月28日 10:00〜 12:00	日本語の特質をふまえて（日本語の起源、漢字の成り立ち、日本語の変遷）	上田女子短期大学 教授　大橋　敦夫	26名
9月4日 10:00〜 12:00	日本語文法の基礎知識　3 動詞の分類・て形	日本語講師 関井　朱美	28名
9月11日 10:00〜 12:00	日本語教授法としての参加型学習	東京外国語大学留学生日本語教育センター 教授　伊東　祐郎	26名
9月18日 10:00〜 12:00	読む・書くことの指導法	国際文化学院 平澤　栄子	25名
9月25日 10:00〜 12:00	教室活動の幅を広げる	日本語講師 松岡　純子	20名
10月2日 10:00〜 12:00	日本語授業の流れ	信州大学　人文学部 准教授　坂口　和寛	25名
10月16日 10:00〜 12:00	子どもの居場所	NPO 法人子どもの国理事・NPO 法人保見ヶ丘国政コウリュウセンター理事・愛知淑徳大学講師 松本一子	25名
10月23日 10:00〜 12:00	文型の説明の仕方	日本語講師 関井　朱美	25名
10月30日 10:00〜 12:00	やさしい日本語	南山大学総合政策学部准教授・元浜松学院大学教授　横内　美保子	26名
11月6日 10:00〜 12:00	教室活動を作ってみよう。考えてみよう。	日本語講師 松岡　純子	22名
11月13日 10:00〜 12:00	アクティビティーを考えて見よう	日本語講師 関井　朱美	27名

11月27日 10:00～ 12:00	アメリカで教える上級英語	アメリカ合衆国ユタ大学 名誉教授　有賀　千恵子	26名
12月11日 10:00～ 12:00	「みんなの日本語」で教える　2	スリーエーネットワーク 木戸　恵子	26人
12月18日 10:00～ 12:00	日本語特質を踏まえて　2 質問への回答	上田女子短期大学 教授　大橋　敦夫	23人
1月15日 10:00～ 12:00	学習者のニーズに合わせた日本語学習支援　1	日本語講師 関井　朱美	20人
1月22日 10:00～ 12:00	日本語学習のサポートーいろんなやり方を工夫するー	(財)海外技術者研修協会　関西研修センター 澤田　幸子	26日
1月29日 10:00～ 12:00	おしゃべりからはじめよう！ ～豊かな地域づくりへ～	(財)海外技術者研修協会　理事兼AOTS日本語教育センター長 春原　憲一郎	26人
2月5日 10:00～ 12:00	学習者のニーズに合わせた日本語学習支援　1	日本語講師 関井　朱美	22名
2月19日 10:00～ 12:00	日本語教室活動の実践に向けて ～日本語ボランティアの醍醐味～	(財)長野県国際交流推進協会、前理事兼事務局長 春原　直美	21名

（10）講座の評価

① 受講生に対するアンケート

別紙　　28回分・講座全体の感想

② 実施主体からの研修内容結果評価

結果の評価としては、参加者の皆さんからも高評価をいただき、よかった。

地域の主に生活者としての外国人に教える日本語と、日本語学校で留学生たちを対象に教える日本語とでは、目的、指導方法が違うことが理解できたこと。違うという観点から、教材、テキストも皆同じではなく、相手に合わせたもの、必要なものを選択する必要性も理解できた。特に、地域の日本語教室でボランティアをする場合、生活者

として使える日本語を学べる場としての教室運営を学べたことは大きい。
協会主催の日本語教室さくら組は、講座と同じ日の午後行っているので、講座で学んだことを実践できる場が身近にあり、参加者は、少なかったがボランティア経験のない皆さんにとっては、参考になるとの意見が寄せられた。
また、現在、ボランティアをしている皆さんは、学習者に合わせてテキスト、生教材を工夫し学んだことが即実践できてよかった。教え方を悩んでいたが、具体的な教材で教え方を学べて、今後ともボランティアを楽しく続けられる。との意見が多かった。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- 23 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業・日本語指導者養成に委託事業に応募。
- 文部科学省「在住外国人の子どもの就学支援事業」の委託事業「伊那日本語教室」が採択されたので、12 月まで行う。
- 協会主催の日本語教室は、今までどおり行う。毎週木、金、土曜日。土曜日は、親と子の日本語教室も開催。
- 相談窓口は、月、火、木、金曜日伊那市生涯学習センター内協会事務局で受付。
  月、木曜日は、ポルトガル語通訳が在室。
  常時、電話による相談を受け付けている。

（11） 事業の成果

① 他事業との連携

- 文部科学省「在住外国人の子どもの就学支援事業」の委嘱事業「伊那日本語教室」で日本語指導に関わっている指導員の皆さんが参加した。

② 研修後の人材活用

- それぞれ地域で行われている日本語教室で、ボランティアをする。以前からボランティアとして活動されている方は、講座の内容を教室で生かしている。
  講座終了後、新しく、４人が日本語ボランティアとして、それぞれの地域の日本語教室に参加している。

（12） 今後の課題

- 外国人の生徒への指導に悩んでいると日本語指導教室がある小学校、中学校、高校の、先生方の申し込みは 8 人いらしたが、学校の行事が優先なので、参加できないことが多かった。 地域のボランティアと、学校の児童、生徒に教えることは、違うことが多いので、別の講座にして、行うほうがよいと感じているし、先生方からもそのような要望があった。
- ボランティアについての講座というよりも、カルチャースクール的に参加する方もいた。そういう方は、途中から、無料だし寒いからと参加しなくなった。ボランティアの裾野を広げるということで、参加希望の皆さんを全員参加していただいたが、参加者の的を絞った方

がよいとの意見もあり、今後の課題である。
・なるべく地元の先生方を講師としてお願いしたかったが、講座の内容にあう先生、長野県在住の先生ばかりでなく視野を広げるために全国レベルの話も伺いたいとの希望のあり、予算の兼ね合いも含め先生の選定に苦労した。
・講師の皆さんからは、2 時間は短いので、もう少し時間を取ってもらいたいとの意見も多かった。今後の時間枠について、検討の必要性がある。

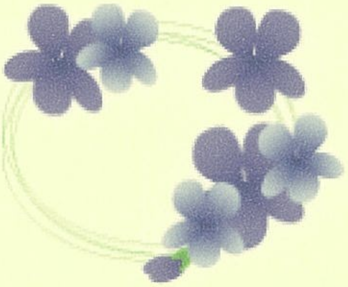
上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座

地域の日本語学習支援に、ボランティアとして関わる中で、的確な日本語の指導や、日本文化、日常生活における初歩的な相談・支援ができる能力の獲得を目標とする講座を開催します。

すでに日本語ボランティアとして活動している人、これから日本語ボランティアとして活動する希望のある人、日本語以外の母語で、学校などで日本語指導をしている人、またはこれから活動したい人など、日本語ボランティアに興味のある方は、ぜひご参加ください。

◆ 開催期間　平成２２年６月５日(土)　～　平成２３年３月上旬　28回
（７月は４回、８月から３月までは、月２回～3回、土曜日午前に開催予定。）

◆ 会　場　いなっせ　(伊那市生涯学習センター)



◆ 募集人員　２０名

◆ 費　用　無料（講座で使用する資料は、こちらで用意します）

◆ 講　師　日本語教育、多文化共生の分野で活躍されている皆様（10名）

◆ 内　容　日本語を教えることを中心に多方面から研修します。

●日本語文法の基礎知識　●教材の選び方、使い方　●独自教材、身近な教材
●「みんなの日本語」で教える初級Ⅰ、初級Ⅱ（スリーエーネットワークの講師）
●学習者のニーズと能力の把握とカリキュラム　●ボランティア教室の運営方法
●外国人が必要としていること、その気持ち　●外国から見た日本語
●日本語学習のサポート　いろいろな方法を工夫する
●多文化ソーシャルワークの必要性とその役割　●上伊那地域の多文化共生の現状

〈６月の予定〉

回	指導項目	月日	時　間	会場	内　容	講　師
1	導入	6月 5日(土)	10時～12時	７０１	開講式、オリエンテーション 県内の外国籍県民事情と日本語教室	春原　直美
2	導入	6月12日(土)	10時～12時	４０１	ボランティアの役割	若林　敏明
3	日本語概論	6月19日(土)	10時～12時	４０１	日本語文法の基礎知識１	関井　朱美

◆申し込み・問い合わせ先：NPO法人伊那国際交流協会
TEL/FAX：０２６５－７２－７７０６
Eメール：iifa@janis.or.jp

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座　申込書

名　　前	
住　　所	〒
TEL／FAX	
携帯電話	
メールアドレス	
ボランティアの場所・経験年数	
現在、関わっている日本語教室	
資　　格	日本語教育能力試験（日本語教師）　合格 受けていない 教員免許
備　　考	

文化庁委嘱事業 上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座 第1回運営委員会

日時　5月28日(金)午後1:30～3:30
場所　伊那市生涯学習センター5階 団体事務室B
出席者 春原直美、北原正治、吉岡郁子、李曼、藤本純子

1. 講座の趣旨・目的について

・運営委員の自己紹介

・文化庁事業についての説明(春原)　別紙 (文化庁からの資料)

・協会で行う業務の目的
地域の日本語学習支援に、ボランティアとして関わる中で、的確な日本語の指導や、日本文化、日常生活における初歩的な相談・支援ができる能力の獲得を目標とする。

・業務の期間
平成22年4月1日 ～ 平成23年3月31日

・当該年度における業務実施計画
目標を達成するために以下の観点からの習得をする。
1、学習者のニーズと能力の的確な把握
2、1に応じた適切な日本語教育のコースデザイン
3、日本語教材のそれぞれの特徴と学習者の能力、ニーズに応じた選択と指導法。
4、教材の作成と指導法
5、ボランティア教室の運営方法
6、生活支援のための相談の対処の仕方
7、上伊那地域の多文化共生にむけた政策の取り組みの現状と課題

2. 講座について

・日本語ボランティアが地域の日本語教室に通ってくる外国籍住民に教える日本語の指導ほか、地域の日本語教室に関しても関心を持ってもらえるように講師を選んだ。
・講座を開催しながら、講座参加者の希望に沿った講師の選定を柔軟におこなっていく。
・講師で、よい方がいれば、コーディネーター、協会事務局に紹介する。

3. その他

・場所は、伊那市生涯学習センター(いなっせ)で行うが、私用する月の 2 ヶ月前の調整委員会で部屋が決決まるので、希望の401会議室が取れないときもある。 その場合は、空いている部屋の中で決める。
・次回 運営委員会は、皆さんとスケジュール調整をし、連絡する。
・毎回、レジュメ、資料ともにスケジュール表を渡す。 (別紙参考)

オリエンテーション配布資料

１．プログラム
・別紙、日程等について。
・８月７日（5階創作室）を除いて、来週から、4階401会議室になります
・講師の都合で、１０時３０分開始～１２時３０分終了という日もあります。

２．出欠、終了証
・来場されたら、出欠表に丸をつけてください。
・修了証は、「28回の８０％２３回」以上、出席の方にお出しします。

３．会場利用について、お願いと注意事項
〇駐車場
・駐車券忘れずにお持ちください。
・５階のセンター事務室で駐車券に印を押してもらうと無料になります。
・いなっせ駐車場が満車のときは、図書館、川沿いの駐車場も利用できます。

４．その他
（１）連絡先
ＮＰＯ法人伊那国際交流協会　事務局（いなっせ５階　団体事務室Ｂ）
ＴＥＬ／ＦＡＸ　０２６５－７２－７７０６
Ｅメール：iifa@janis.or.jp

（２）質疑応答

文化庁委嘱事業

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座

会場：伊那市いなっせ

日時：平成22年6月5日（土）
１０：００～１２：００

【第１回】

時　間	内　容	講　師　等
10:00～10:15	開講挨拶・諸連絡	講座コーディネーター　春原　直美
10:15～12:00	外国籍県民事情と 地域の日本語教室	前（財）長野県国際交流推進協会（ＡＮＰＩＥ） 事務局長　春原　直美
12:00	挨　拶 諸連絡、アンケート記入	ＮＰＯ法人伊那国際交流協会　若林敏明 〃　藤本　純子

次回は、5月12日（土）です。

10:00 ～12:00	ＮＰＯとボランティア	ＮＰＯ法人伊那国際交流協会 理事長　若林　敏明

注意事項　お帰りの際、アンケート用紙にご記入ください。　皆様のご理解ご協力お願いします。

☆　日　程

区分	指導項目	回	月日	時間	会場	内容	担当、講師
基礎（2回）	導入	1	6月5日	10～12時	701	開講式、オリエンテーション 県内の外国籍県民事情と日本語教室	前　(財)長野県国際交流推進協会 事務局長　春原　直美
	導入	2	6月12日	10～12時	401	NPOとボランティアの役割	NPO法人伊那国際交流協会理事長 若林　敏明
初級（3回）	日本語概論	3	6月19日	10～12時	401	日本語文法の基礎知識1	日本語講師 関井　朱美
	日本語概論	4	7月10日	10～12時	401	日本語文法の基礎知識2	日本語講師 関井　朱美
	日本語概論	5	7月17日	10～12時	401	外国人が必要としていること、 その気持ち	外国籍市民
中級（7回）	指導法	6	7月24日	10～12時	401	「みんなの日本語」で教える1	スリーエーネットワーク 木戸　恵子
	指導法	7	7月31日	10～12時	401	教材の選び方、使い方	南山大学 教授　横内　美穂子
	指導法	8	8月7日	10～12時	創作室	日本語教育の必要性	信州大学　人文学部 准教授　坂口　和寛
	指導法	9	8月21日	10～12時	401	児童生徒への日本語支援（仮題）	松本市子ども日本語支援センター コーディネーター　川澄　利枝子
	指導法	10	8月28日	調整中	401	日本語教授法としての参加型学習（仮題）	東京外国語大学留学生日本語 教育センター　教授　伊東祐郎

文化庁委嘱事業 上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座 第2回運営委員会

日時　7月10日(土)午後12:30～2:30

場所　伊那市生涯学習センター 4階 401会議室

出席者 春原直美、有賀千恵子、関井朱美、北原正治、吉岡郁子、李曼、藤本純子

1. 講座4回を終了して

・運営委員の自己紹介

受講者・講師の反応　　資料／①全日程・プログラム

②出席状況

③アンケート　　　　別紙

・7月10日現在、受講者数 40名 (皆勤 7人)

＊受講者40名の内訳

①日本語教室ボランティア 19名

・日本語教室「さくら組」(伊那国際交流協会) 12名

・伊那日本語教室(文科省委託「子どもの就学支援事業」伊那国際交流協会)6名(内3名重複)

・駒ヶ根日本語教室(地球人ネットワーク) 3名

・箕輪町日本語教室(箕輪国際交流協会) 1名

②教諭　　5名

・高等学校日本語指導教室　　1名

・中学校日本語指導教室　　1名

・小学校日本語指導教室　　3名

③ボランティア経験なし　　7名

④外国籍住民　　8名

・中国人　　5名(内1人は合庁帰国者支援員、3人は日本人配偶者、1人は会社員の妻)

・ブラジル人 3名(内2名は合庁福祉課相談員、ブラジル人学校で週2回日本語教室を担当)

⑤高校生　　1名

＊講師から

1. 様々な立場の人がいるので、話の内容の焦点が絞りにくい。どこにあわせてしたらよいのか迷う。

A. 在、ボランティアをしている方が、一番参加者の中で人数を占めているので、そこに焦点をあわせていただいてよいがボランティア経験のない方にも配慮していただくように、講師の皆さんにはお願いしている。

2. 外国籍の方も何人かいらっしゃるが、日本語で理解はできているのでしょうか。

A. たぶん、難しいことは理解できないこともあるかもしれないが、日本語のレベルは高い皆さんなので、それほど気にしなくてもよいと思う。ただ、ブラジルの方は、漢字権の中国の方と違って、専門的な文章は分からないこともあるかもしれない。こちらの方で、フォローできることはしたい。

3. 皆さん、非常にまじめに聞いてくださり、よい質問も出るので、話しやすい。一人の方が長く質問される場合は、他の方が質問できなくなるので、講座終了後に個人的に対応するようにしたい。

＊講座に参加した動機

①日本語ボランティアに参加しているので　23名

②日本語ボランティアに参加したい、これから参加を考えているので　6名

③内容・講師に興味があったから　15名

④いろんなことを学びたいから　24名

⑤その他　7名

（理由は）

・日本語勉強中。

・少しでも、人の為に役立つことができればと思い、その資格を得たい。

・今年定年になります。少し仕事を減らして社会に恩返し、ということで、ボランティアをしたいと考えています。語学に関心があるので、「日本一」ということ、国の狭間で苦労している人を援助したく考えました。

・ブラジル人学校で、日本語を教えているから。

・小学校の日本語教室の授業に役立てたいので。

・もっと日本のことと日本語を勉強したいので。いろいろな方々と会えて、良かったと思います。

2. 講座に関して

・有賀さんから、お願いされていた講座は、11 月でお願いしたい。（11 月 27 日）

・9 月までは、開催場所は決定済み。 8 月 8 日は伊那祭りのため、創作室となる。

・講師については、9 月後半から調整中。

3. その他

・次回委員会は、10 月の予定。 日は調整して、連絡する。

文化庁委嘱事業 上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座 第3回運営委員会

日時　10月30日(土)午後12:30～2:30

場所　伊那市生涯学習センター 4階 401会議室

出席者 春原直美、有賀千恵子、平澤真由美、関井朱美、北原正治、吉岡郁子、李曼、藤本純子

1. 前半を終了して

受講者・講師の反応　　資料／①全日程・プログラム

②出席状況

③アンケート

・10月30日現在、受講者数 40名 (皆勤 2人)

・受講者の約半分が、ボランティア経験者。外国籍住民中国5人。ブラジル3人。

＊講師から

・皆さん熱心である。

・ボランティア経験者と、未経験者と、同じ内容でも理解度が違うので、難しい面もある。

・質問も多い。また、思った以上にグループでの話し合いが、盛り上がり様々な意見が出るので、講座が充実したものになる。

＊ 受講者から

・実践的なもの、学問的なもの、地域の取り組みなど、内容がバラエティーに富んでいるので毎週、楽しく参加できるとの意見(ボランティア経験者)。反対に、毎週違っているので、頭が切り替わらない、指導の実践的な内容は、続けて講座を持ってもらい、終わったら次の内容との方が、よいとの意見もある。(ボランティア未経験者)

・上伊那では、お話を聞くことが出来ない講師の講座に参加でき、勉強になる。

2. 後半について

講座参加者の希望に沿った講師の選定を行う。

<u>◆今後学習したいこと</u>　　　20人の意見 (8月7日アンケート)

1 日本語文法について　8人

2 指導法について　15人

3 教材について　4人

4 多文化について　7人

5 その他 具体的な希望

・坂口先生にもう一度お願いしたい 2人

・特に書くことについて、場面を多くしたもの(学校、社会において)

・実例を中心に指導法について教えていただければと思います。

・生徒の方に、単に日本語を教えるだけでは、なかなか覚えるのが難しい、相互学習、生徒の方の国の文化や慣習や国情など、いろいろ相互にやり取りしながら、やる気を持続していただき、その中で日本語を上達していってもらいたい為、いろいろな国の講師をお願いしたい。

3. その他

質問1　地域の日本語教室は、どのように運営されているのか。

春原から、県内の日本語教室の数、活動などの説明があった。

地域に住む外国人といっても、研修生、留学生、仕事できている人、日本人の配偶者、帰国者など日本に在住する理由によって、学習したい内容が違っている。地域の日本語教室は、日本語学校と比べると多種多様なニーズに応えなければならないので、ボランティアといっても、教える技術が必要である。そのためにも、このような講座は、大変役立つと考えている。

質問2　外国籍の皆さんも参加しているが、どのような目的で参加しているのか。

- 日本語を母国に帰って教えたい。
- 日本に永住するが、仕事として、母国の人に日本語を教えたい。
- 現在、仕事で子どもたちに教えているが、力をつけたい。
- 日本語についていろいろ学びたい。

文化庁委嘱事業 上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座 第4回運営委員会

日時　1月15日(土)午後12:30～2:30

場所　伊那市生涯学習センター 4階 401会議室

出席者 春原直美、関井朱美、北原正治、吉岡郁子、李曼、藤本純子

1. 講座24回を終了して

受講者・講師の反応　　資料／①全日程・プログラム

②出席状況

③アンケート　　　　別紙

・1月15日現在、受講者数 40名 (皆勤 1人)

・寒くなったことに加え、地域の行事などもあり、参加者が少なくなり、参加者が決まってきている。

・参加者から、実践的な指導法を学びたいとの意見が多い。

2. 残りの講座について

・1月29日と2月5日の講師をお願いしていた方が、家族の病気や都合できていただけなくなったので春原憲一郎氏、関井朱美氏と交渉中。

・実践的な指導法を学びたいとの希望にそって、地域のボランティア教室で、使える教える内容で、講師を選定し、お願いする。

3. その他

・最後の第5回運営委員会は、講座の終了日に行いたい。 皆さんに都合を聞いて決める。

・最終日は、終了式を行い、修了証書を講座28回中23回の出席をした受講者に渡す。(15人)

・第 1 回の講座で話しているが、資格ではないので、公に効力があるものではないことを、きちんと伝える。

・レジュメ、講座のまとめの資料を運営委員に郵送する。

有賀　千恵子氏の講座への質問及び、回答。

①１１ページにある、名誉、恥については、どのように説明されるのですか。
現在の日本人は、恥の気持ちが薄れているように感じているのですが。

価値観という場合時代による相異また年齢層の違いなどありどこに照準をあわせるのかという問題がありますね。一般的には若者は親の世代の価値観に反して生きるという場合も多いと思います。ただ若者も結婚し子供を持ったりするとまた親よりに近づくという現象も見られます。アメリカでも元ヒッピーだったという所帯持ちのビジネスマンに多く会いました。
では実際に教室でどのように教えたらいいのかということになりますが、大学の授業の場合通常下記の方法をとります。

これまでに書かれた日本文化に関するいい本が幾つかあります。
これらの本は研究者や一般読者に受け入れられてきた「的を得ている」と思われている著作です。授業ではまずこうした著作を読み基本的なところを理解してもらい、その上で現代の若者層はこう違うとか地域の差とかの説明を加えるというやり方です。
配布資料の一番最後のページにリストしておきましたが、「名誉、恥」についてはルース・ベネディクトの「菊と刀」という名著があり参考にしています。著者はアメリカ人ですがアメリカにいた多数の日本人をインタビューしてこの本を著しました。戦後天皇が罰されなかったのはこの本のためだと言われています。社会学者の書いたものなのでちょっと読みにくいかもしれませんが英語圏では大変有名な本です。

②現代の日本と待つやこころが書かれた時代背景、及び考え方も変化してきていますが、その当時の日本人と現代の日本人との違いなどには、どのように説明されるのですか。

今回の講座では「こころ」＝明治の作品、を扱いましたが、これはこのコースの初めの部分で、コース全体としては明治から大正そして昭和、戦後へと近代文学の軌跡をたどるので、そういう中で価値観の変化というのも触れていきます。また現代の文化や価値観については、上級日本語コースで「日本の新聞」というのがありますが、このコースで現代日本の諸社会現象や問題といった面を学びます。

③西洋と日本の価値観の違いの討論などは、日本語でされるのですか。

コースをとる学生のレベルが高い時には日本語で、あまり高くない時は英語でとしますが、討論の目的は考えを伝えることにあるので基本的にはどちらでもいいことにしています。ということで教室では両語が交互に飛び交うこともよくあります。

文化庁委嘱事業 上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座 第5回運営委員会

日時　2月19日(土)午後12:30～2:30

場所　伊那市生涯学習センター 4階 401会議室

出席者 春原直美、平澤真由美、関井朱美、北原正治、吉岡郁子、李曼、藤本純子

1. 講座を終了して

＊修了証書の授与は、15名。

受講者・講師の反応　資料／①全日程・プログラム

②出席状況

③アンケート　別紙

＊受講者の講座全体アンケートは、別紙。

2. 講座のまとめ、反省

＊講師から

・とても良い経験になりました。

・ボランティア教室の皆さんのためにと、話していたが、日本語の今まで知らなかったことを知りたい方もいたのではないか。その方たちのためにそのような内容がもう少しあってもよかったと思う。

・ワークショップをじっくりしたかった。

・2時間は、短い。その日にしたことを振り返り、考える時間がほしかった。分かったつもりで時間が来てしまうというところはある。

・まず事務局のスタッフの皆様には大変お疲れ様でした。昨年夏からの長い講座そして毎週のことでしたのでさぞ大変だっただろうと思います。私の講座の際にもいろいろご協力頂いて助かりました。ありがとうございました。

・二、三人の受講者と話す機会があったのですが後半は行かなかったという話しをしていました。その理由としては、冬で寒く出かけにくかったこと、そして無料なのでついつい休んでしまったということでした。自分自身を振り返ってみても、無料のものは段々行かなくなるという傾向が確かにあります。授業料を払った場合は行かないと勿体ないからと少々無理しても受講します。なので受講者の方々には少しお払い頂くと逆によかったかもしれません。

・アメリカの日本語教育ではマンガ・アニメやネット(漢字暗記、ゲーム等)を教材にしているところがかなりあります。年配層と違い最近の若い層にはこうしたメディアを通した教材が結構受けるかもしれません。将来又講座があればその辺のトピックもあれば面白いかと思います。

＊運営委員から

・ゲームなど、学んだことを学校現場でも生かせるとよいと思う。

・大人と学校の生徒では、多少教え方の違いはあるが、教師の力量が物を言うので、この講座は大変参考になった。

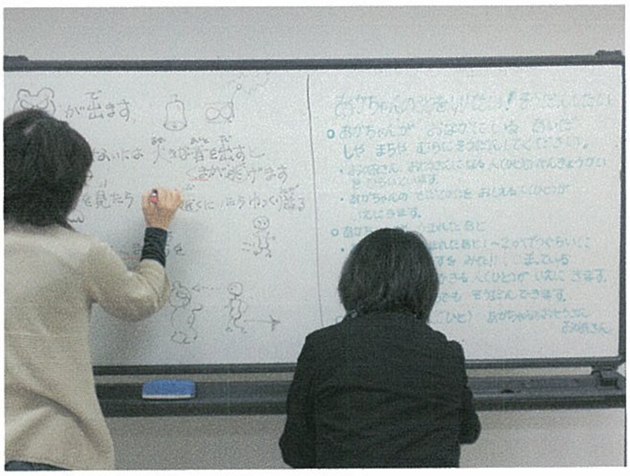
・外国籍住民のお話は、事前に趣旨を話して準備したつもりであったが、日本語の能力もあり、こちらが望んだ外国籍の人が抱える問題や、日本語教室への要望などは、余り聞くことが出来ず、残念だった。
・プロジェクターなどを使って、映像で分かりやすい部分が大きかった。
・こちらで予定していた講師の方に、様々な事情で来ていただけないことがあり、結果的に講座受講者の希望も多かった関井さんに負担をかけてしまったが、文法から教え方まで幅広く学べてよかった。
・話し合うグループを作る時、同じ立場の人でグループを作ると話し合いがしやすいのではないかという意見も寄せられたが、人数や参加者の関係もあり、希望に沿ったグループでの活動はできなかった。
・まだまだ検討事項はたくさんあったかと思いますが、みなさんと一緒に同じ目線で考えられるというところで、皆さんにとっても身近に教室活動いろいろを考えられていたらいいなと思っています。でも、すべての講座を通じて、とても楽しかった。先日も、駒ケ根の教室にも顔を出しますと、声をかけていただいた。伊那も駒ケ根も、日本全体からみれば小さな地域ですし、小さい範囲ではなかなかできないことも協力し、共有することで、全体が活性化されると思う。どちらもにぎやかになるように、多くの力がどちらにもあつまり、助け合い、学びあう気持ちが育てばいいなあと思った。
・プロジェクターを使った授業をされていた際、参加者たちに読んでいただくよう、講師が指名されたのですが、私も含めて多くの方が目が悪かったり席が遠かったりで読むことがままならず、講師にとってはハプニングとなってしまった。もっと大きな文字の資料を映せるように用意すれば良かったと後で仰っていたが、これぱかりは予想がつきにくい、ある意味微笑ましいハプニングだった。
・内容は私にとってはとても興味深いものでしたし、外国語学習者が原書を読むのは、その国の文化や思想を理解するためには欠かせないので、このような講座は、理解できる受講者ばかりではないでしょうが、情報として与える、その意義を伝える・・・という意味でも大切だと思った。

3. その他

地域の多文化共生についての意見交換

・信州大学の留学生も地元とのつながりがもう少しあるとよいが、難しいことも多い。
また、地元に貢献できることという観点から、活動できるとよいと思う。
・在住外国人と地元の皆さんとの交流、生活していく上で自然に交流できる場が、なかなかない。
・学校の PTA などの活動も、クラスの皆さん、学校の先生により、大きな差が出てくる。
・皆が交流できるセンターなど、地域の駅前の利用及び活性化などの問題解決のため、会議が行われ、検討されている。
・長野県の伊那以外ので地域での取り組みについての話。
・23 年度は、同じ事業に日本語指導者養成の分野で、申請した。継続できるとよい。

講座の風景



上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 6. 5

県内の外国籍住民事情と日本語教室　前アンピ事務局長　春原　直美

参加者人２１人中アンケート提出１７人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　４人　　２理解できた　１３人

（理由）

・資料にもとづいた説明だったから。
・プリントでいろいろ資料が記されていた。
・お話しが大変、聞きやすく（内容も話し方も）初回にふさわしい内容だった。

B．満足度

１とても良かった　６人　　２良かった　１１人

（理由）

・日本語教室の必要性、目的について、よくわかった。
・ボランティアとして多文化共生に関わる意味を再認識できた。
・お話しが大変、聞きやすく（内容も話し方も）初回にふさわしい内容だった。
　役所のお話が多かったのですが、このボランティアをやるには、役所との関係が切り離せないということなのでしょうか。

C. 講師は

１とても良かった　６人　　２良かった　１１人

（理由）

・現状について細かく説明していただけた。
・県内のことがわかりました。
・話し方がわかり易かった。
・春原さんは、外国籍住民をとりまく状況をよく御存知なので、ありがたいです。
・お話しが大変、聞きやすく（内容も話し方も）初回にふさわしい内容だった。

D その他、意見、感想

・日本語ボランティアの成功例、失敗例など聞いて参考にしてみたい。
・講座20回ぐらいは出席したいです。
・日本における（長野県）多文化共生の組織としての運営等のむずかしさを感じました。
・今後の話になると思いますが、これからボランティアをやろうとする（現在、白紙）人間なので、
　①資格、②検定、③実務、④日本語知識など具体的な知識を得たいです。
　①資格は何がいるのでしょう。②日本語講師検定は受けた方がいいでしょうか。③どうやって募集するのでしょうか。募集するものではなく「知り合うもの」でしょうか？④②と同じ。自分が日本語を話せるから、それで、いいとは思いません。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　　　2010. 6. 12

NPOボランティアの役割　　元NPO法人伊那国際交流協会理事長　若林　敏明

参加者人１８人中アンケート提出１５人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１０人　　　２理解できた　15人

（理由）

・ボランティア、NPOについて必要なものがわかった。
・実際の組織の設立にあたってのながれや行政の動きなど、具体的でわかりやすかった。
・筋道立った話し方だった。図などわかりやすかった。
・具体例が示され、メリハリがあった。
・絵なども書いてよくわかった。
・説明が判りやすかった。
・長年ボランティアをしていても、協会のなりたち等、断片的にしか知らなかったので。

B．満足度

１とても良かった　９人　　　２良かった　　６人

（理由）

・NPO活動の内容、参加にいたるまで、外国籍の市民の方々が知る手段や情報の発信の方法など、聞けたらよかったです。
・ボランティアとNPOとの関わり方、園違いなど、良くわかった。「さくら組」がどういう運動からできたのかなど知らなかったことがわかった。
・NPOとボランティア関係が良く理解できた。
・伊那国際交流協会のことが理解できた。NPOについてもわかった。
・先生の経験も聞けてよかった。
・NPOとボランティアについて違いなどが判った。活動の基本が感動ということ。

Cその他、意見、感想

・他のボランティア活動の経験から、活動の特性については同意見です。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 6. 19
日本語文法の基礎知識１　日本語講師　関井　朱美

参加者人３１人中アンケート提出２５人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　16人　　２理解できた　9人

（理由）

・文法と難しく考えてしまいがちでした。普段あまりにあたり前に使っていると、ルールという意識もないと感じました。
・まとめのレジュメがほしかったです。
・問題にとり組んでから、説明を受けたから、よく理解でした。
・改めて文法が理解できました。
・グループで学習したことで、みんなの意見がきけてとてもよかった。
・みんなで考えて学習しましたので、わかりやすかった。
・言葉のゆれについての説明もしっかり（名詞・な形容詞）あってよかった。
・日本語ついて目からウロコ。　形で分ける。
・実際に分類しながら、考えてみて、頭に入りやすかった。
・伊那時内容２回目なので、よくわかりました。

B．満足度

１とても良かった　18人　　２良かった　7人

（理由）

・グループで話すなかで、言葉についてのみなさんの考え方やとらえ方が聞けたのがおもしろかったです。
・適切な指導でした。
・聞いているだけでなく、ワークができてよくわかった。
・ほどほどに、むずかしかったです。
・い形容詞、な形容詞の分類がよくわかりました。
・日本語を学ぶ立場の人になって考えられた。(私のグループには、窪田さんもいらしたし。)
・グループ授業は楽しくてよかった。他の方とコミュニケーションが出来た。
・楽しく学習できました。

Cその他、意見、感想

・先生は「飯田でも活動されている」と聞きましたが、活動の場所など詳しいことを知りたいです。熊谷千穂
・今まで、日本語の本を読んでいた時、そこの文法と自己で勉強した知識と違っているとこが

時時見かけて、なやんでいました。今日の講座で文法も少しづつ変わっていることが分かって、ほっとした気がしました。

・言葉を文法でなく形（後に付くことば）などに分けて教えるといいと思いました。

・グループ学習のやり方のヒントになりました。聞く姿勢についても参考になりました。

・グループ討議が楽しかった。

・「皆さん日本語教師を目指しているわけではないですよね。」一と先生がおっしゃったのがひっかかりました。一日本語教師を目指しているのですが・・・。勉強するテキスト、学校など教えてください。　荒井

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 7. 10

日本語文法の基礎知識　日本語講師　関井　朱美

参加者人３０人中アンケート提出１９人

☆本日の講座について

Ａ．理解度

１良く理解できた　８人　２理解できた　８人　３あまり理解できなかった　３人

（理由）

・グループワークで実際に思っていることを話すとわかりやすかった。
・先生の説明がとても良い。　駒ヶ根で受講してあった。
・具体的でよかった。
・最後の方は急ぎ足で、初心者の私には理解できませんでした。
・時間が足りない。
・動詞のグループ分け、時間がなく説明が足りなかった。

Ｂ．満足度

１とても良かった　１０人　２良かった　８人　３あまりよくなかった　１人

（理由）

・短い時間で伝えようとする講師の先生の姿が良かった。
・グループワークで実際に思っていることを話すとわかりやすかった。
・ワークショップ形式になっているので、頭に入りやすい。
・「わからなかった」ことが、先生の説明を聞いて、すっきり分類され、感動です。

Ｃその他、意見、感想

・専門家の話で、分かりやすく話してくれてよかった。
・さらに発展した講座も計画してほしい。
・くれて　やります　の意味はよくわからないです。
・質問は講座の終わりの方でしていただきたいと思います。
・時間が足りないですね。て形はやりましょう。お願いします。
・グループで考えたりするのと時間が足りなくなるので、説明だけの方がいいと思います。
・やはり、日本語について、自分が話せても、客観的に人に教えるとなると、何も知っていないということが、判明しました。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　2010・7・24

「みんなの日本語」で教える１　　講師　スリーエーネットワーク　木戸恵子

参加者３２人中アンケート提出２７人

☆本日の講座について

A．理解度

１よく理解できた　11人　２理解できた　15人　３あまり理解できなかった　１人

（理由）

・日本語はとても難しくて、文法をもっと勉強します。
・日本語ボランティアの活動をしていないので、実践して困ったことなど具体的なイメージはできなかったのですが、絵やテープなど、実際指導する内容を教えてくださったので良かった。でも難しかったです。
・お話の内容はよく理解できたのですが、「日本語を教える」段になると、教えたことがないので、私自身よくわからなかった。日本語文法自体よくわからない。日本人なんですが（笑）
・目からうろこという感想でした。
・具体的な教え方が聞けてわかりやすかった。
・教科書[で]の意味がよくわかった。

B．満足度

１とても良かった　17人　２良かった　８人　ふつう１人　３あまりよくなかった　１人

（理由）

・みんなの日本語のテキストの構成が良く分かりました。
・授業構造が分かりやすく良かった。
・お話が上手で聞きやすかった。
・分かりやすく話せてもらいました。
・話が解りやすかった。
・教案の書き方を学ぶことができたこと。教材の使い方が学べたこと。

C．その他、意見、感想

・日本語学習のための教材（日本語教材の歴史、問題点など）をスリーエーネットワーク社に限らず紹介してほしかった。
・いきなり指導法になったので、少し戸まどいました。
・場面を印象的にすることが大切だと分かりました。
・文字に頼らない。印象深い授業をする。

　　↓

　「このためにイラスト等をたくさん使う」改めて再確認しました。
・いつもですが、最後に時間が足りなくなることが多く、午後仕事で早く（ぴったり）に帰らなければならない私としては、残念です。
・印象付けることが大切。具体的説明していただいてよかったです。
・とても役に立ちます。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座　　2010. 7・17

外国人とその気持ち　　ナガノ（ブラジル）サンタ（フィリピン）李（中国）

参加者人２５人中アンケート提出２０人

・３人の外国人の方の発表をお聞き出来て、とても良かったです。アジアの中でも、日本語と同じ漢字を使う中国は、日本人にとっても習得しやすい言語なのかなと思いました。発音は英語より難しいかもしれませんが、これからちょっと力を入れてみようと思います。
フィリピンのサンタさんは、おっとりされていてとても感じの良い方でした。日本語の勉強の方法をもう少し工夫されるときっともっと上達されるのでは？
ブラジルのナガノさんも勉強方法のくふうが日本語上達の鍵のような気がしました。(表彰状はすばらしかったです。）李さんからは、私の方こそ、いろいろ学ばせて頂いています。今日は本当にこの会に出席させて頂き、ありがとうございました。
・ありがとうございました。自信をもって、これから勉強していってください。
・日本語を習う。どの言語も習う為には“ドリョク”が必要だと思います。その国の文化を学ぶのも大切です。皆さんの話を聞いて、とても勉強になりました。一人一人の今までの経験、発音の違い、むずかしさ。教える側のむずかしさを、考えさせられました。
・３人とも、短期間に日本語を習得されて、感動致しました。学習の内容も大変高度で、指導者の方々の努力に敬意を表します。私も真剣にとり組まないとならないと痛感した次第です。
・三人共、来日してから、日本になじむよう努力している様子が良くわかった。来日二年で、能力試験一級に合格した李さんはすばらしい。困ったこと、良かったことなどもっと具体的に聞けると良かった。日本語を教えてもらっていての教え方に対する意見、こうしてほしいなどが聞けるともっと良かった。
・学ぶ側に立場としての言葉、話が聞けてとても良かったです。ありがとうございました。
・大変優秀な外国人の方々が身近にいることが分かり、驚かされました。私自身も、日本人として恥ずかしくないよう、勉強しなければ、と思います。貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。
・日記、作文、メールなどを使ってみると、日本語能力アップに役立つという話が参考になりました。
・３名の方の話をお聞きしました。日本語が、まだ上手ではない方、上手な方、それぞれですが、皆日本語をうまく話したいという気持ちが伝わってきました。
私達、日本人がアフリカに行って初めてそのほかの言葉に触れた時は、どんな気持ちになるでしょうか。不安でいっぱいの筈です。同じ様に外国の方が日本で暮らすということは大変な事だと思います。一つ一つの事柄を、ていねいに教えてあげる事が大事なことだと思います。
・学習者の立場をのぞくことができて参考になった。　ボールの音の問題は日本語が音とアクセント（強勢）に余り重きを置かない言語だと思われるので、とくにはっきりと発音してきかせるようにしたい。欧米言語、中国語は音とアクセントに重きが置かれていて、サンタさんのいうとおり、少しでも音やアクセントがちがうと聞き取れないというもは、経験的にも納得できる。今後の参考にしたい。
・三人とも、上手に日本語話されて立派でした。李さんには、私のつたない教え方をほめて頂いて、身にあまる思いです。具体的な例をあげると、すぐ理解できるというのは、勉強になりました。長野さんは、短い間に確実に力をつけて、仕事にも生かしておられて、すばらしいです。サンタさん、伊那のさくら組にも、良かったら、来てください。

・外国人の方々が、日本語を学ぶ為に大変努力をしている様子がわかりました。同時に教える事の難しさを痛感しました。私もこれからその方法を勉強して行きたいと思います。日本語の勉強も（文法など）必要だと思いました。

・短時間に日本語上手です。皆さん優秀ですね。
この３人の方は日本の生活大丈夫ですが、人によっては大変困難な人も多くいると思います。私も努力して日本語勉強しようと思います。

・３人とも、上手な日本語で驚きました。日本人でも、人の前で話す事は大変です。
短期間で日本語を身につけられているのは、必要である事が大きな力となっていると感じました。
どの言語でも、新しい言語を習う時には、自信と勇気が大切なのだと思いました。
外国の方のお話を聞く機会がないので、とても有意義でした。

・外国からの人たちが、いろいろ日本語勉強の経験を教えていただいて、とても勉強になりました。

・現職国語教師も説明出来ないような日本語。「日本語教育」の専門家の指導が必要と痛感しました。

・外国人が日本語を学ぶことは、すごく労力、努力が必要であることがよくわかりました。
日本人のカタカナ語は、これからもどうするのか問題だと思う。

・李さんには、びっくり致しました。能力が高いのでしょうが、２年間であれ程の日本語力をつけたのは、すばらしい。
ナガノさん、サンタさんも、それぞれ、力いっぱい努力して生活している様子がうかがえ、よい機会になりました。

・全員きれいな発音をしていて、驚きました。
これからも外国人の方々のお役に少しでも立てればうれしいです。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 7.31
「教材の選び方、使い方」　講師　南山大学准教授　横内美保子

参加者２４人中アンケート提出１８人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　14人　２理解できた　４人

（理由）

・レジュメがわかりやすく、知りたい情報が頂けたため。
・話すスピードと言葉が、聞きやすく、よくわかりました。
・ワークショップ、ＤＶＤなど使ってわかりやすかった。

B．満足度

１とても良かった　14人　２良かった　３人　３あまり良くなかった　１人

（理由）

・ムダな言葉があまり入らず、テンポもよかった。
・やさしい日本語、使える日本語、会話を大切にしようというお話にとても感動しました。
・色々なシラバスを教えてもらえて良かったです。
・新しい見方を学べて良かった。
・ワークで具体的、理解しやすかった。
・ワークショップで、色々な方の教え方がわかってよかった。
・「テキストの選び方」について、驚くことが多かった。
・授業のＤＶＤは、わかりやすかった。
・今までの自分のボランティアの中で、ムダなおしゃべりだったかな？と思っていたこともそうじゃないんだなーということが実感できてよかった。

Cその他、意見、感想

・実際のビデオは、よかった。
・また、お話をお伺いしたいです。
・おしゃべりしましょう！を、使ってみようと思います。
・同じ題材について、別の先生が違うコメントをするのはとてもよい。（比較検討できる）
・どの先生も一様におっしゃることは、とても大事なことなのでしょう。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 8.　7

日本語教育の必要性　講師　信州大学人文学部　坂口　和寛

参加者２６人中アンケート提出２０人

☆本日の講座について

Ａ．理解度

１良く理解できた　13人　２理解できた　６人　３あまり理解できなかった　１人

（理由）

・具体的な記事でよかったです。
・時間的な問題で、表面的には解るが、もっと深く理解したいと思いました。
・シラバスは、難しい。
・前回と引き続く内容、前回の踏み込んだ部分の説明であったため。
・新聞記事などを利用して、わかりやすかった。
・話し方が難しかった？

Ｂ．満足度

１とても良かった　14人　２良かった　６人

（理由）

・新聞記事に接することにより、広く学べた。

Ｃその他、意見、感想

・今までの授業を見直すきっかけになりました。
・坂口先生のお話をもう一度お願いしたいです。（2人）
・後半の「マインスイーパ」型･」言語活動先行型の日本語指導（タスク中心）について詳しく
↓
ボランティア教室の授業方法のアイデアがほしかった。「テトリス」型の教室運営ができない悩みをそう解決するのか？
・（自然習得型）の考えの中で、ボランティアとしての考える能力は、実は本当に高い脳力が必要だということが、わかった。
・学習者の立場で分析していただき、色々勉強になりました。
・なるほどな・・・と思うことがあり、勉強になった。資料も帰って読みます。
・シラバスについて、判りやすかった。ボランティアは何が必要か理解できた。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 8. 21

外国籍児童生徒への日本語支援　松本市子ども日本語支援センター　川澄利枝子

参加者人２９人中アンケート提出１９人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　８人　２理解できた　10人　３あまり理解できなかった　１人

（理由）

・学校で子どもに教えているので、身近な内容だった。
・何が言いたくて、私は何をすればよいのか、よく理解できなかった。（３番の人）
・実例、経験を通しての話だったから。
・体験に基づいていたので。

B．満足度

１とても良かった　６人　２良かった　12人　３あまりよくなかった　１人

（理由）

・学校における実際の様子をもっと話して欲しかった。
・もっと教育法の話を聞きたい。（３番の方）
・実態がよくわかった。
・子供の日本語教育の現状についてよくわかった。
・ただ「しゃべれる」子が、学校の授業を「楽しめる」わけではないとわかり、サポートが必要なのだと気づきました。

Cその他、意見、感想

・子どもの立場に立った支援のあり方、多分か共生の精神、大事なブレてはいけないスタンスを学びました。
・いろいろな立場、いろいろな人間、子供がいる中での経験談は、半分にしてもらいたい。
討論等を行ってもよかったかな。
・伊那市の現状はどうなのか。学校内の支援学級が十分なのか。知りたいと思いました。
・生活言語ができれば学習言語は学校で習得できると思っていたのが、そうでないはないというお話し、勉強になりました。
ダブルリミテッドは大変な問題であると思う。
・どうするNIPPON　て感じる。近い将来大きなリスクになると思います。
・具体的なお話を聞かせていただき、理解しやすかった。
・ボランティアとして活動することへの目的、思いがとても伝わってきました。子供という難しい部分に熱く、温かくかかわっている姿が素晴しいと思いました。自分は、こどもへの対応はしていませんが、いずれかかわれたらいいなと思いました。
・雑談もおもしろかったですが、もう少し要約したお話だともっと聞きやすかったと思いました。
・生活言語と学習言語について　自分も感じていたことでしたが、学習言語の習得に５年～９年もかかることが驚きでした。授業がわからなければ３年間が苦痛ですよね。共に考え、悩まなければならないと思っています。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010．9．4

日本語文法基礎知識３　動詞の分類、手形　日本語講師　関井　朱美

参加者人２８人中アンケート提出１３人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　３人　２理解できた　10人

（理由）

・前回の内容がさらによくわかるようになった。

・難しい。

B．満足度

１とても良かった　６人　２良かった　１７人

（理由）

・日本語文法が理解できました。

・ワークショップ形式でよかった。

・いつも知識がいっぱい。

Cその他、意見、感想

・以前、別講座で受講したことがあったので、再確認できた。

・盛りだくさんの内容で、勉強になりました！
また歌やわかりやすい教え方をお伺いしたいです。

・時間を気にされているようですが、お話の内容自体いっぱいいっぱいなので、ぜひ回数をふやして、心ゆくまで説明してください。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 8.28

日本語の特質をふまえて　（日本語の起源、漢字の成り立ち、日本語の変遷）

上田女子短期大学　教授　大橋　敦夫

参加者人２６人中アンケート提出２５人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１５人　２理解できた　９人　３あまり理解できなかった　１人

（理由）

・まだまだ知らないことが・・・奥が深い。
・具体的な例を白板に記入して、よくわかった。
・単語がわからない所がありますので。（あまり理解できなかった）
・いろいろな具体例を出していただいて、楽しく学習できました。
・話しかたがはやかった。
・洗練＆整理されたステキな講義でした。↑↑
・例と対して。分かりやすく。聴取とりやすいことで。
・板書をたくさんしていただいたので。
・とてもていねいな説明でした。

B．満足度

１とても良かった　１９人　２良かった　５　人　３あまりよくなかった　１人

（理由）

・例が一(いち)、一(いち)、（日本語表記？）納得。黒板の使い方も素晴しい。
・テンポが良かった。
・普段あたり前に、使用している日本語を再確認できた。又、完璧に日本語ボランティアを行う時の参考になると思った。
　└→日本語の表現は外国人には難しい。
・比較的既知の内容が多かった。
・話の内容が大変興味深かった。
・日本語を話していながら、知らない事ばかりで、とても興味深かった。
・説明が具体的でよかった。
・要点的にお話いただき、分かりやすかった。
・先生の話のないようがよかったけど、もっと理解できたかった。（あまりよくなかった）
・イギリス人の友人が家族のことを「みなさん」と言っていて、どう説明しょう・・・と思っていたので、相対敬語の話がきけて良かったです。
・又、是否、もう１回先生の講義を聞きたいと思います。
・知らないことがたくさんありました。
・進行がよかった、話の内容も良かった。

Cその他、意見、感想

- とても面白かったです。初めての話ばかり。(いつも日本語を使っているのに)
- 日本語が少しわかった気がする。おもしろかった。
- また聞きたいです。
- あらためて、日本語の特質について学んだ。具体例をあげての説明でおもしろかった。
- Super Cool！　また、お越し頂きたいです。
- 訓読についてを、少し知りたかったです。
- 古文の捨て仮名の意味がわかり、納得しました。　助詞は確かにむずかしくて、ボランティアのレベルでは、外国の方に質問されて、明解な答えが出せなくていつも困ってしまいます。丸谷才一さんの本をよんでみたいです。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 9. 11

日本語教授法としての参加型学習　東京外国語大学留学生センター教授　伊東　祐朗

参加者２６人中アンケート提出１６人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　14人　　２理解できた　２人

（理由）

・私の考えている日本語ボランティアとほぼ共感できる講座だった。
・とてもわかりやすい日本語、会話でした。
・資料（レジメ）がわかりやすかったです。
・レジュメがわかりやすかったです。図解が多く視覚的に理解できました。

B．満足度

１とても良かった　15人　　２良かった　１人

（理由）

・参加型学習、対話、学びあい、楽しく交流し学習できそう。
・参加型授業で楽しかったです。
・改めていろいろな学び方が有るのだなーと思った。「相互の学びの場」このことが一番大事なことです。
・活動しながら、学んだので、とても良かった。
・活動→講義→活動で楽しかったです。一方的でなく、私たちのたくさん質問してくださったので、自分の意見を再発見できた。

Cその他、意見、感想

・あらゆる角度から（人間関係、言語、教室運営･･･）毎回のテーマがよく考えられていて感心します。ありがとうございます。
・もう１回、伊東先生にきて、もっと話を聞きたい！
・部屋の四隅に分かれて自分の考えを示す。お互いに考えを知るということがすばらしいと思いました。全体的への理解ができていいですね。
・時間ぴったりに終了！　感動しました（笑）
・フォトランゲージは、大変興味があっておもしろかった。話し方も明解で、理解しやすかった。ありがとうございました。
・伊東先生のわかりやすい日本語がすばらしいです。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 9. 18

読む・書くことの指導法　長野国際文化学院　平澤　栄子

参加者人２５人中アンケート提出１６人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　７人　２理解できた　９人

（理由）

・日本語学校で学ぶ人たちの背景は、初めて知りました。
・分かりやすく説明してくれました。
・日本語学校について、まったく知らなかったので、紹介していただいたのがよかったです。
・よくわかった。

B．満足度

１とても良かった　６人　２良かった　10人

（理由）

・実際にボランティア教室では、読む・書くはほとんどしていない。→必要性を強く意識できた。
・資料の使い方を自分で考えることができる講義だった。
・質問に対して、解答する、できることで分かりやすく、学習したものに対して、すぐに身につくと思います。
・中上級の学習者は、想像もできなかったので、少し理解できました。
・具体的なものを使っているので。よかった。

Cその他、意見、感想

・時間は守ってほしい。質問は時間外で個別にうけつければ？
・少し展開が早くて、ノートが取りきれず残念でした。
・中級以上になったら、様々な身近な資料を使って「読む」学習ができることがわかりました。ヒントや加えた条件でずいぶん内容が豊かになるのですね。
・

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　2010. 9. 25

教室の活動の幅をひろげる　　日本語講師　松岡　純子

参加者人２０人中アンケート提出１３人

☆本日の講座について

Ａ．理解度

１良く理解できた　１１人　　２理解できた　２人

（理由）

Ｂ．満足度

１とても良かった　９人　　２良かった　４人

（理由）

・導入ので、絵カードやテキストのイラストを使っていく方法がわかりました。
・模擬授業をやっていただいたことがありがたかったです。絵カード等すぐに実践できそうなものを紹介していただき、とても参考になりました。グループで導入をかんがえたことも実践的でとてもよかったです。
・指導方法が具体的に体験できて、大変参考になりました。
・具体的な内容で面白かったです。
・絵カードを使った指導でわかりやすかった。
・ロールプレイが出来て、練習ができてよかった。

Ｃその他、意見、感想

・今、使っている教材が大人用なので、子供用に内容を変えていくのが大変です。
・盛りだくさんの内容を紹介してくださったのでしかたありませんが、速い進め方で、ついていくのに気が抜けないかんじでした。実際の模擬授業では、どのくらいのスピードで話し、間をおいて授業を進めていらっしゃるのか知りたいと思いました。
  カード、ジェスチャー、手の使い方がとても参考になりました。
・手なれた教室活動を実際に見て、さすがと思った。
・ありがとうございました。
・絵カードを実際にやってみると、言葉かけが難しいことが理解できて役立ちました。
・具体的に説明していただきました。ありがとうございました。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　2010. 10. 2

日本語授業の流れ　　講師　信州大学人文学部准教授　坂口　和寛

参加者人２５人中アンケート提出２０人

☆本日の講座について

A. 理解度

１良く理解できた　１０人　　２理解できた　９人　　３あまり理解できなかった　１人

（理由）

・説明がわかり易かった。
・説明書と資料がよかった。
・資料と説明、実際の演習のつながりがわかりやすかった。
・実際にやってもらったので、よかったです。

B. 満足度

１とても良かった　１１人　　２良かった　８人　　３あまり良くなかった　１人

（理由）

・現実に即してた。
・面白く、現状の教授方法を反省させられました。が、なかなかむずかしいかも。
・今までやった　・参加型学習（伊東先生）　・ワークショップ（シラバス）横内先生とタスクの関係性がよくわかりません。同じですか？
・
・

Cその他、意見、感想

・role play まで行うのは、むずかしそうです。
・楽しかった！！
・わかったような、わからなかったような。（３番に○の人）
・同じ人が長く質問するのは、個別に、後でしてほしいと思います。
・わかりやすくて、とても良かったです。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 10. 16

子どもの居場所　講師　NPO 法人こどもの国理事、愛知淑徳大学講師　松本　一子

参加者人２５人中アンケート提出１４人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　５人　２理解できた　９人

（理由）

・

B．満足度

１とても良かった　７人　２良かった　６人　３あまり良くなかった　１人

（理由）

・進んでいるところの状況がわかり、よかった。
・いろいろな活動の中での状況･問題等などが、とてもわかりやすく説明していただけた。

Cその他、意見、感想

・とてもおだやかな口調のお話で、聞きやすかったです。　親子間のコミュニケーションが困難になるわけが、母語の習得に関心が低かったからだとわかりました。大切なこと深刻なことを言葉が通じないために親子で話せなくなるとは、ショックでした。
・深く考えこませられるようになります。とてもよかったです。
・長年、積み上げてきた実績から出てきたお話、興味深くお聞きしました。これからの学校のあり方が大事だと思いました。
・中国人と日本人との再婚について、"連れ子"と言う表現は、適切ではないと思います。
・伊那市内でも、ブラジル人学校の様子を聞きたい。
近所でも、そのような事例をやっているところはないでしょうか？あれば短時間でも聞きたい。
・大変なお仕事をなさっていることに敬意をいただきました。たくさんの子どもたちが救われたことと思います。
・具体的なお話が聞けてよかったです。
・個人的には、とてもやさしい先生だと思われますが、授業運営はとてもたいくつでした。この講座で、様々な授業運営を教えていただいたので、教えられる方（話を聞く方）の立場で考えました。Ex. 保見でのボランティアでの話しに、伊那やその他の地域でボランティアをやっている方の話などをぶつけてみたら、その地域の特性や問題の解決の仕方のヒントが得られたかもしれません。保見だけの話だと自分と保見の接点を見つけるのが難しいです。自分は、ボランティアをまだしていませんので、そう思うのかもしれませんが。
この講座のコーディネーターの方には、時間への配慮等、色々ありがとうございました。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　2010. 10. 23

文型の説明の仕方　　講師　日本語講師　関井　朱美

参加者２５人中　アンケート提出１７人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１２人　　２理解できた　５人

（理由）

・自分で考えることは、大変ですが「なるほど」と思うことが多くなります。
・ポイントが少しだったので、良かった。

B．満足度

１とても良かった　１３人　　２良かった　４人

（理由）

・実際の授業を思い浮かべられる演習で、なるほど！と思えました。
・学習者の状況に合った場面設定をすることの大切さが良くわかった。
・先生のしどうはよてもわかりやすくて、かんたんなことばづかいで、よかったです！！

Cその他、意見、感想

・具体的でよくわかりました。
・文法（文型）を理解してもらうために、たくさんの例文を作っておくことが大切とわかりました。
・実際に文章化して書く事は、みんなの前でデモをする時と、また違った意味が付加され、勉強になった。
・私も例文を作る時は、学習者の実際使っていたり知っている場所を入れて作っています。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 10. 30

やさしい日本語　講師　南山大学准教授　横内　美保子

参加者２６人中　アンケート提出１８人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１３人　２理解できた　５人

（理由）

・ワークショップでいろいろな案を見て理解できた。

B．満足度

１とても良かった　１２人　２良かった　６人

（理由）

・同じ外国人でも、わかる日本語の種類が違うことがわかった。

↓

やさしい日本語

・ワークショップの中で体験してはっきりわかることがあった。

Cその他、意見、感想

・ワークショップで、具体的になってよかった。
・ワークショップの作品（？）それぞれ感心しました。
・日々、外国籍の家庭むけに“やさしい日本語”をつかって、通信等を出している立場としては、たいへん参考になりました。毎日ふつうに日本語を使っている私たちでは、気づかない日本語の難しさがあるので（受け身、敬語 etc）勉強になりました。ありがとうございました。
・資料が多かった。
・日系定住外国人施策に関する基本方針が準備されつつあることを知り、早く実現してほしいと思いました。
・簡単な日本語で文を作るということが、以外に難しいことが良く分かった。外国人に分かるようにという視点で考える大切さも学べてとても良かった。
・先生の話し方は、はっきりしていて分かり易く、聞きやすかった。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　2010．11．6
教室活動を考えてみよう・つくってみよう　　講師　日本語講師　松岡　純子

参加者２２人中　アンケート提出１６人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１２人　　２理解できた　４人

（理由）

・自分にあるネットワークを書いてみて、人のネットワークについても考えることができた。

B．満足度

１とても良かった　１０人　　２良かった　６人

（理由）

・後半の活動に時間をとってほしかった。
・実際に活用できそうでよかった。
・具体的なことを考えることができて、楽しかった。

Cその他、意見、感想

・私のネットワーク図は、簡単な自己紹介が出来ていいと思いました。
・先生は、とてもわかりやすいことばづかいでよかったです。
・
・
・
・
・

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010．11．13

アクティビティーを考えてみよう　講師　日本語講師　関井　朱美

参加者２７人中　アンケート提出１４人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　８人　２理解できた　６人

（理由）

・いつも体当たりの授業で、授業をこうやるということがわかります。
・分かりやすい説明で、とても理解しやすい。
・復習を初めに入れてくださるので、今日の課題に入りやすく理解もしやすい。前回休んでいたので、特にそう思った。

B．満足度

１とても良かった　８人　２良かった　６人

（理由）

・自分で活動できるところが良い。
・後半が、時間切れのようになってしまうので、グループ活動に時間を割くようにしていただけると、気持ちもあせらずじっくり取り組めてよいと思う。

Cその他、意見、感想

・受講生の人達がネームカードをつけたら、どうでしょう（ニックネームでも）今日のようにゲームをしたり、チームワークでやることが多いので、名前を呼べると助かる。先生も多分。
・回を重ねて来たので、理解度がup。
・関井先生の講座は、わかりやすくてとても良い。
・アクティビティーの準備のたいへんさ、難しさを、再認識した。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　　2010. 11. 27

アメリカで教える上級日本語　　　　講師　ユタ大学名誉教授　有賀　千恵子

参加者２６人中　アンケート提出１５人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　　４人　　　　２理解できた　１１人

（理由）

・何となく、日本語の方が整理されていないことばの表現があいまいなところで伝わっていると感じた。流れや雰囲気で伝えているのかもしれない。

B．満足度

１とても良かった　　１０人　　　　２良かった　　５人

（理由）

・西洋文化とのちがいだけでなく、日本の文化についての現代とのちがいなどにも気づけて興味深かった。

・日本の文化や価値感について考えることができて良かったです。

・なかなか聞けない話だった。外国人に日本の文化を背景にもった文学を教える意義。むずかしさなどを知り、とても興味深かった。

・構文という文法が良かったので、わたしも使わせていただきたい。

・2級試験対策の性分指導にとてもよいと思いました。

Cその他、意見、感想

・西洋と日本では、人間関係の作り方にずい分と違いがあることがわかったが、自分はかなり個人主義的な生き方をしてきたように思った。周囲に個性が強いとか、主張が強いと言われてきたが、西洋で生活するとそうでもないかも。

・日本語や多言語を学ぶ際に、つい「道具」としての文法に重点を置きがちだが、文学作品を通して、その言語を話す人々の精神構造を理解しなければ本当のコミュニケーションは取ることができないと感じた。とても貴重な考える機会でした。

・とても興味深い内容でした。とりあげられた作品は、日本人でも読むことがむずかしい作品です。

・アメリカの大学が日本の歴史や、近代化の中で生きた日本人の葛藤をよく学び、理解していると感心しました。若いときに読んだ「こころ」を再び５０代で読んでたくさんの発見がありました。年齢をかさねたことで理解できるようになったことが多く、これを機にして、他の小説も読み直してみようとおもいます。有賀先生の推せん書などを参考にしたいと思います。

・普段考えたことのない事で、とても興味深く、たのしかった。

・日本人、外国人、その組を理解することは大切だと思った。

・アメリカのだいがくの様子が興味深かった。日本に興味のある外国人が友達にいるので、英訳本を勧めようと思います。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 12. 11

「みんなの日本語」で教える　講師　スリーエーネットワーク　木戸　恵子

参加者２６人中　アンケート提出１３人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　７人　２理解できた　６人

（理由）

・資料説明により、理解しやすかった。
・ボランティアで初級Ⅰの後半を教えています。これから、だんだん難しくなると心配していたのですが、私にとって、今日の講座は、実にタイムリーなものでした。
・

B．満足度

１とても良かった　６人　２良かった　７人

（理由）

・初級Ⅱ以降は、面倒でも頭を使って、日本語に興味を持っておもしろいなと自分が感じながら、やっていけると良いのですね。ありがとうございました。
・参考になることが多かった。
・
・
・

Cその他、意見、感想

・練習長を利用するといいなと思った。
・教えている方対象の講座なので、私のようにまだスタートしていない人間は、どんどん取り残されている感じです。早くボランティアを始めたい、と思う気持ちと、自分が、何も分かっていない不安との２つです。
・例題も面白く楽しかったで～す！！

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2010. 12. 18

日本語の特質をふまえて　２　講師　上田女子短期大学教授　大橋　敦夫

参加者２３人中　アンケート提出１４人

☆本日の講座について

Ａ．理解度

１良く理解できた　１１人　２理解できた　３人

（理由）

・質問に真剣にお答えいただき、ありがとうございます。

Ｂ．満足度

１とても良かった　１２人　２良かった　２人

（理由）

・例題、例文、話題が豊富で、楽しくて。良く理解できました。
・皆さんの質問に分かりやすく答えていただき、参考になり、とてもよかった。もっとじっくり講義を受けたいと思っています。ありがとうござました。
・知識欲を満足させてくれる。
・具体的な例を挙げて、興味深い答えを説明してくださったので、とても面白かったです。

Ｃその他、意見、感想

・時代ごとで、日本語の変化があって、分かりやすく説明してくれました。ありがとうございました。もう１回、大橋先生の講義を聴きたいです。
・大橋先生の講義をもう１回組んでください。
・長年の疑問がとけて、うれしかったです。ありがとうございました。
・考えてもみなかったことがあり、ためになった。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　　2011. 1. 15
学習者のニーズに合わせた日本語学習支援　1　　　講師　日本語講師　関井　朱美

参加者２０人中　アンケート提出１４人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１１人　　２理解できた　３人

（理由）

・相手と楽しみながら、ボランティアをする先生の話しがよかった。
・学習者の例による説明の部分がわかりやすかった。

B．満足度

１とても良かった　８人　　２良かった　６人

（理由）

・学習者のニーズに合った日本語をいかに提供するかの大切さが良くわかった。教科書でやることの不自然さも良くわかった。
　↓
　でも毎日何をやったら良いか、非常に困っている。雑談でいいのか？など
・未経験なので、具体的な活動に不安があります。
・実際に使える。
・KUBOTA さんの発言もあり、授業が Lively になった。いろいろ考えさせられた。

Cその他、意見、感想

・ニーズに合った教え方をしなくてはならない事は同感です。今日やった「ハローワークに行く」人のための練習をしましたが、ボランティアがハローワークの使い方を知っていなくてはならない。
・多様のニーズがあることがわかりました。次回は続きをしましょう。1時間考えて、1時間続き。
・学習者のニーズによる具体的で考える事、やさしい日本語を使う事、楽しいボランティア教室を考えるなど、参考になると思う。
・以前の教室と内容がかぶっていたけど、復習できてよかった。
・日本語学習支援のボランティアが互いに学びの場であることは、ボランティアとして日の浅い私も感じます。又、「みんなの日本語」のテキストだけでは“話せない”ことも思っていましたので、学習者とのかかわる中で常に相手の本当のニーズを探り、それに応じた学習支援ができるように心がけていきたいと思っています。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2011. 1. 22

日本語学習のサポート―いろんなやり方を工夫する―

講師　海外技術者研修協会　関西研修センター　澤田　幸子

参加者２１人中　アンケート提出１５人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１４人　２理解できた　１人

（理由）

・ポイントがとてもわかりやすかった。
・ハキハキした話し方で、具体的な例をあげてのお話で、とてもわかりやすかった。

B．満足度

１とても良かった　１２人　２良かった　３人

（理由）

・実際に即した教え方を分かりやすく話をいただいた。非常によかったです。参考になりました。
・具体的な話が聞けて良かった。
・日頃の活動に意識することができると思った。楽しかった。
・ボランティア教室で、みんなの日本語以外のテキストを使って、どのように教えたらよいか、いろいろなお話が聞けて、大変参考になり、役立ちました。
・テキストの使い方について、使える機能を優先させて使うという点、使い方でニーズにあった会話等に発展させていける事が、大変参考になった。

Cその他、意見、感想

・テキストの「例文」からおしゃべりのきっかけをつかむというのが、なるほどと思いました。実践してみたいです。今後は、おしゃべりのきっかけをつかむアンテナを常に張っていたいと思います。
・ボランティアは、教えるという姿勢より。コミュニケーションを楽しみ、仲良くなろうとする気持ちが大事。気楽に取り組めそうで、これからの活動が楽しみです。
・日本語教室では、とにかくみんなの日本語を使って教えることが基本と言われて、今までその様にしてきました。今回この講座に参加して、それだけではないことがよくわかった。では、どうしたらよいか悩んでいたところに、よいアドバイスをいただけてよかったです。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2011. 1. 29

おしゃべりから始めよう！～豊かな地域づくりへ～

講師　（財）海外技術者研修協会理事兼AOTS日本語教育センター長　春原　憲一郎

参加者２５人中　アンケート提出１７人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１４人　２理解できた　３人

（理由）

・ポイントがわかりやすかった。
・話し方など、とても聞きやすかった。
・楽しく分かりやすい話し方で、内容がよく理解できた。

B．満足度

１とても良かった　１６人　２良かった　１人

（理由）

・楽しく考えることができた。
・引きこまれるような内容でとても興味深く聞くことができました。
・異文化への目が開かれる。
・興味深く内容を聞け、とても短い２時間だった。また、今後の活動に役立てることが出来そうだと思った。

Cその他、意見、感想

・世界の現在(移民)から、学び手にとっての日本語の難しさなど、わかりやすく楽しく学ぶことが出来た。
・自分の心の中のある差別にも気づいていきたいと思いました。
・イメージ放出法、すごく良かったです。新しい発見です、元気が出る講義でした。
・ちょっと他の講師との方とかぶるところがあって、時間がもったいなかったかもしれません。（遠くから、見えている方なので、少しでも多くを知りたい）
・ひきつけられる話し方で、今までの講座のいろいろな先生のお話も思い出しながら、自分の頭の中でまとめることができた。講座の最後の方だということで、まとめられるようなお話をしてくださったのではないかと感じられた。
・あと２回となりましたが、大変役立つよい講座でした。

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　2011．2．5

学習者のニーズに合わせた日本語学習支援　2　講師　日本語講師　関井　朱美

参加者２２人中　アンケート提出１２人

☆本日の講座について

A．理解度

１良く理解できた　１２人　２理解できた　０人

（理由）

B．満足度

１とても良かった　１０人　２良かった　２人

（理由）

・楽しく考えることができた。
・具体的な「病院」という場面を例にしていただいたので、自分だったら、どんなことで困るか本当によく考えさせられた。

Cその他、意見、感想

・グループ活動が多くて、楽しかったです。
・関井先生ありがとうございました。資料をたくさん用意していただき、熱意いっぱいに教えていただきました。これから、実際に教えて行きますが、又　折り折りお聞きする事が出てくると思いますが、よろしくお願いします。
・文法の勉強がとても勉強になりました。
・おもしろかった。
・授業は聞きやすくて、元気がもらえた。
・実践的で良かったです。だるいて、どう表現しますか？
・「できるだけ、やさしい日本語で」を常に、頭に入れておく大切さを、再認識しました。
・具体的でわかりやすかった（言葉の伝え方、やさしい日本）ニーズを知る事、あらかじめ予想すること　など。
・わかりやすくてとてもよかったです。専門知識がなくても出来ることがわかって、安心しました。
・先生の長年の蓄積を惜しみなく教えてくださるので、感動的です。

↓　（ただ、私はスタート前なので、もったいない感じです。）

（書き出すこと
分類すること
整理すること
相手の立場に立つこと）

上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座アンケートまとめ　　　2011. 2. 19

日本語教室の実践に向けて～日本語ボランティアの醍醐味～

講師　（財）長野県国際交流推進協会　前　常務理事兼事務局長　春原　直美

参加者２１人中　アンケート提出１２人

☆本日の講座について

Ａ．理解度

１良く理解できた　３人　　２理解できた　９人

（理由）

・佐久市のレベルの高さを痛感。即ち、地元の問題がはっきり見えた気がします。
・自分の教室とくらべながら、聞けたのでよかった。
・大人の人達は、日本語教室に行って学ぶのがいいと思いますが、小人達は、日本のがっこうに行かないといけないと思います。」

Ｂ．満足度

１とても良かった　４人　　２良かった　８人

（理由）

・自分のサポートスタイルをねるのに非常に参考になった。

Ｃその他、意見、感想

・「この講座を受けると受けないでは大違い」と（教えて１年くらいの）いっている人がいましたが、私もそう思います。そうでなかったら、いきなり「歌を歌いましょう」のパターンだったと思います。
・すずらんの会の活動の様子がよくわかりました。
・クラスの基本方針と各ボランティアの質レベルの差違を考えますか？箕輪町は、学ばれる方、教える方を選べません→　即ち、サービスの競争、レベルアップの機会の喪失をしていると思います。しかも、アドバイザーがしっかり placemennt しないと、あんも先生がえり好んでいる気がすのですが。学習者のニーズですが、やはり学習者側からのニーズのオファーは、現実にはかなり困難です！サポートする側の人格によるのでは？

※今までの講座で、良かった、役立ったと思う講座、内容は何でしたか。
これから勉強したいこと、講座全体の感想、希望など。

＊関井先生の講座は、わかりやすくてとても良い。

＊「話題シラバス」についての講座が良かったです。“目からうろこ”隠れた文法に興味があります。

＊グループに分かれて授業の展開を考えるの形はとても勉強になります。もしできるなら、日本語学習を必要とする立場に応じた

ex.
- ・ボランティア教室で大人に教える → ブラジル／中国／英語圏
- ・ボランティア教室で子どもに教える
- ・学校の日本語教室で子どもに教える etc。

１つのテーマでも、グループに分かれてより自分の勉強したい場面での実践を考えられる機会がほしいです。いろいろな立場の人が受講しているので、区別せずにグループでやるのも、もちろんよさはあると思うのですが、より実践に近づけるため・・・。

＊新しい教え方にすごく興味があります。

＊関井先生には是非、日本語（文法）そのものの授業をお願いしたいです。知識がすごいので。

＊非常に役立ちました。

＊先日、市の公報で、「日本語ボランティア」の募集がされていました。明日（月）にでも、電話しようと考えています。「初めの一歩」です。ありがとうございました。

＊たいへん勉強になりました。6 月には、内容もよくわからぬまま、参加を決めたのですが、本当に中身の濃い講座でした。ありがとうございました。日本語ボランティア活動の中で習ったことを早速ためしてみてよい反応があり、うれしく思ったこともありました。

＊教えるテクニックの難しさを感じました。楽しく交流する事が、ボランティアの立ち位置であると知って、少し気が楽になったような気がしました・

＊毎回興味深く、目からうろこの内容が一杯でした。ありがとうございました。

＊受講して大変よかったです。現在習ったことを実践しています。

＊外国の人と交流したいという気持ちだけで始めたボランティアでしたが、講座の中で、いろいろな問題などについても知ることができ、ボランティアをやることの意義が深まったと思います。そんな中でも、楽しくやって生きたいという気持ちも強くなりました。

＊地域で実行している各教室の人、ボランティアの授業とか、模擬をやったらどうですか？
各先生方、運営スタッフの皆様、お疲れ様でした。